

避難計画では住民の安全は守れない!

再稼働の同意権は約30km圏内の福井・京都・滋賀、関西一円にもある



発行 プルトニウムなんていらんよ!東京 製作 高木 章次

住民説明会の開催を求めよう

高浜原発3・4号の再稼働に反対しよう

原発から約30km圏内に25万人以上 半数以上が京都北部の住民

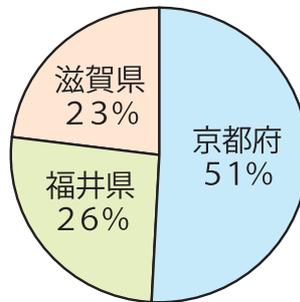
高浜原発から約30km圏内には、福井・京都・滋賀^{※1}の25万人以上が暮らしています。京都北部の住民は、福井県の住民の2倍以上です。舞鶴市の一部は5km圏内にもあり、舞鶴市・宮津市は全市民が避難となります。

福井県知事と関電は、再稼働の判断は、福井県と高浜町だけで充分と言っています。しかし、事故の被害を受け避難を余儀なくされる30km圏内と関西一円の自治体・住民の意思が尊重されるべきです。

※1 京都府7市町：福知山市・舞鶴市・綾部市・宮津市・南丹市・京丹波町・伊根町、滋賀県2市：高島市・長浜市

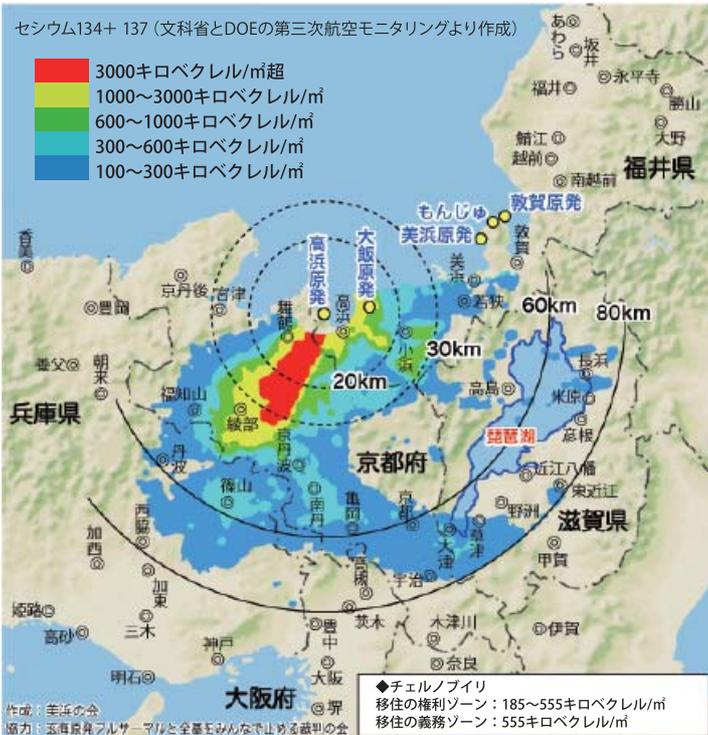
※2 UPZ（緊急時防護措置準備区域） 原発からおおむね30kmの区域で、避難等を準備する区域。滋賀県は43kmの区域を滋賀県版UPZとしている。

約30km圏内の人口割合
京都が半数以上



避難元	約30km圏内 (UPZ ^{※2}) 人口	広域避難先
福井	高浜町	兵庫
	おおい町	
	小浜市	
	若狭町	
(福井合計)	(67,000)	
滋賀	58,000	大阪・和歌山
京都	128,500	兵庫・徳島
	253,500	

高浜原発を中心に福島原発事故による土壤汚染図との重ね合わせ



作成：美浜の会 協力：玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会

事故が起これば関西一円に甚大な被害

福島原発事故による深刻な土壤汚染

福島原発事故による土地の汚染は広範囲に及んでいます。高浜原発にあてはめたのが左の図です。

30kmを超えた地域でも、チェルノブイリ原発事故では避難が義務付けられた程の汚染です。80kmの地域でも、避難の権利が認められた程の汚染になっています。

農業や漁業、名産の但馬牛の畜産も壊滅的な被害を受けます。多くの人々が故郷を追われ、戻れる目途もありません。福島原発事故から4年になりますが、今も12万もの人々が避難生活を余儀なくされています。

琵琶湖も汚染される

琵琶湖は高浜原発から約50kmです。関西一円1,300万人の命の水の瓶である琵琶湖が汚染されれば、影響ははかりしれません。

兵庫・大阪に避難しても、安全な水の確保は困難です。

「ヨウ素を除去できるのは30~50%」

避難計画を案ずる関西連絡会 (連絡先団体)

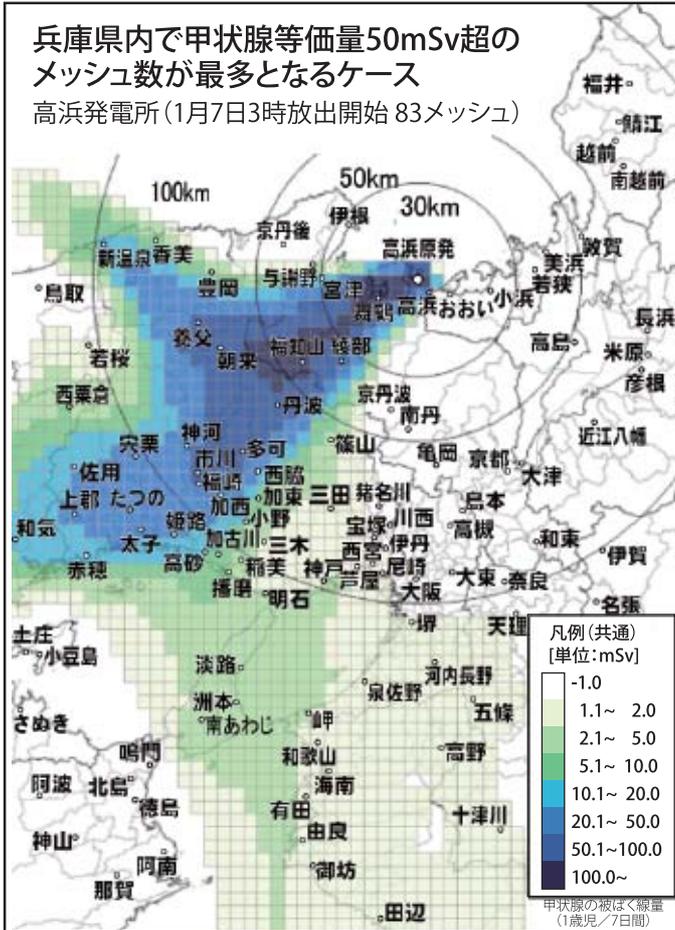
- グリーン・アクション 京都府左京区田中開田町22-75-103 TEL:075-701-7223 Fax:075-702-1952
- 原発なしで暮らしたい丹波の会 京都府南丹市園部町船岡葉無8-2 こだま方 TEL:090-3862-2468 FAX:0771-86-8432
- 脱原発はりまアクション TEL:079-421-2853
- 原発防災を考える兵庫の会 TEL:080-5707-7908
- 美浜の会 大阪府北区西天満4-3-3 星光ビル3階 TEL:06-6367-6580 FAX:06-6367-6581

避難先の兵庫も高い被ばく予測(高浜原発事故)

高浜町住民の避難先・三田市は139mSvの甲状腺被ばく予測。
兵庫も避難が必要では？

三田市	139.4	篠山市	100.1	神戸市	60.4
-----	-------	-----	-------	-----	------

兵庫県2014年シミュレーション1歳児/7日間 甲状腺(mSv)

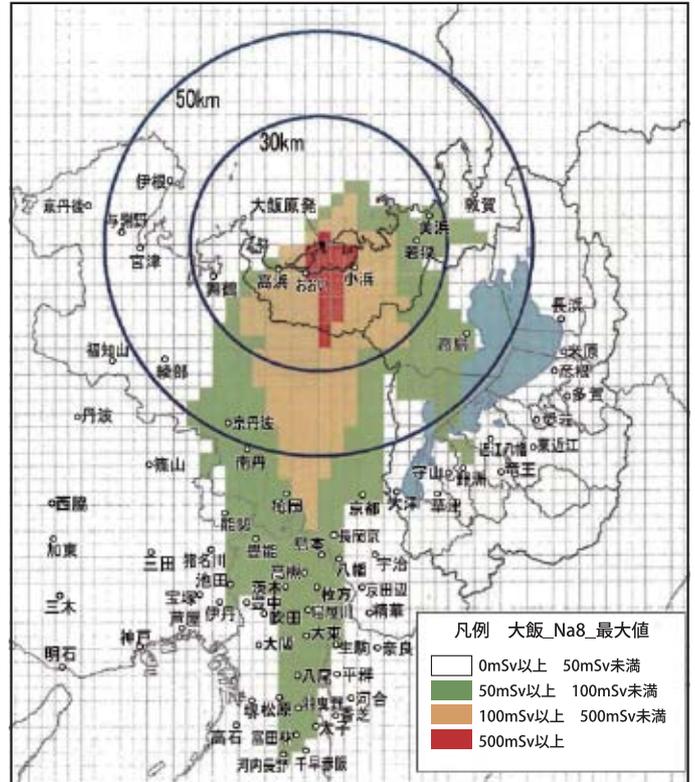


兵庫県の新シミュレーション(2014年版)に地名を挿入(美浜の会)

若狭・関西一円で高い被ばく予測(大飯原発事故)

おおい町・小浜市	500 以上
若狭・京都は広範囲で	100~500
滋賀・大阪	50~100

滋賀県2013年シミュレーション1歳児/7日間 甲状腺(mSv)



新たに公開された滋賀県のシミュレーションに地名を挿入(美浜の会)

避難計画は被ばく計画

★国の避難の規準は高すぎる

- 要援護者と5km圏住民・放射能放出前に避難？
→ 関電の事故シナリオでは、約19分で炉心熔融
約90分でメルトスルー。被ばくなしに避難できず
(炉心熔融が始まれば放射能は外に出ていく)
- 30km圏住民・炉心熔融が始まっても、屋内退避
→ 通常の約1万倍の放射能濃度(0.5ミリシーベルト/時)で即時避難
→ 通常の約400倍の放射能濃度で1週間程度内に一時移転

★スクリーニング(汚染検査)の規準は高すぎる

- 基準値: 120 Bq/cm² (40,000cpm^{*1})
- 小児の甲状腺被ばく線量で300mSvに相当
IAEAの安定ヨウ素剤服用基準の6倍
 - 「放射線管理区域の外に物を持ち出す基準^{*2}」の30倍
この高い基準以下なら、除染なしになってしまう
[*1 1分間の放射線カウント数] [*2 4 Bq/cm²]

渋滞は必至、地震・津波、雪の中で避難はできない

避難道路は1本道が多く、数万の人々が同時に避難すれば渋滞は必至です。京都府のシミュレーションでは、30km圏外に出るのに最短で約15時間、最長で約29時間となっています。しかし、福島原発事故時の渋滞を考えれば、さらに長時間に及ぶでしょう。バスや運転手の準備もできていません。

地震や津波で道路が寸断されたり、雪で車が立ち往生すれば、避難先にたどり着くことさえできません。

兵庫県の避難所の3割、184カ所が土砂災害などの危険区域！ 大阪府の避難所は、約2万人分が未だに決まっていない！

福井・京都の避難先である兵庫県では、避難所600ヶ所の内、3割にあたる184ヶ所の避難所が土砂災害や洪水などの危険区域に設定されたままです(4頁参照)。これでは住民の安全は守れません。避難所は安全な区域に設定するよう求めた災害対策基本法等にも違反しています。

滋賀の高島市・長浜市の5万8千人は大阪府に避難します。しかし、約2万人の避難所は未だに決まっています。また、舞鶴市民を受け入れる神戸市の一部避難所は、避難所名が公表されていません。

避難所がこのような状態ですから、避難計画は根本から破綻しています。

汚染検査は全員に実施しない

避難する場合、汚染検査・除染が実施されます。避難者の被ばくを少しでも早く見つけ、体に放射性物質が付着している場合には除染します。また、避難先に汚染を拡大しないという二つの目的があります。

しかし、検査は全員には行われません。これでは避難する住民の安全確認も、汚染拡大防止もできません。

車両の汚染が基準値以下の場合、人も「同様とみなす」。人の検査なし

→ 「人が外で農作業している間、車は車庫の中」・・・これでも同様？

車両の汚染が基準値を超えた場合、「代表者」の検査のみで、同乗者全員を「同様とみなす」

→ 大人の代表者の検査で子どもも「同様」？

汚染検査(スクリーニング)・除染の実施場所は？

避難計画で重要なスクリーニング地点も問題だらけ

- 「原発から5km以遠ならOK」(福井県)・・・スクリーニングの意味なし
- 兵庫に避難する場合のスクリーニング地点はまだ決まっていない
- 国はこれまで「30km圏近傍で実施」としていたが、福井県の方針を容認
- 高浜町の一部住民は、原発に近づいてスクリーニングすることになる
- 福井県が公表した28ヶ所の候補地・・・ただの交差点まで含まれている

[写真]



国道27号 六路谷検問所 高浜町内 どうやってスクリーニングや除染をやるの？

要援護者の避難計画はずさん極まりない 「3日間のろう城」や屋内退避

高浜原発から5km圏内の病院を訪問しました。施設の一部を「放射線防護対策施設」(フィルター設置・窓の気密化等)としたことですが、非常用発電機の燃料は3日分しかなく、「事故後3日間のろう城」が決まっているだけです。あとは、海上保安庁や自衛隊による救出が想定されているだけです。福島原発事故のように数日後に爆発が起こればどうなるのでしょうか。「封じ込め」しか考えていません。

福祉施設では、車いすや寝たきりの人をどうやって運ぶのか。自衛隊のヘリで、介護度の高い高齢者をつるして運べると思っているのかと、施設責任者は実態を無視した県の計画にあきれ怒っています。

5km圏外の在宅の要援護者の避難先は決まっています。体育館等の避難所に行くしかありません。屋内退避が最優先となっていますが、障がい者支援団体は、「屋内退避は座して死を待つようなもの」と厳しく批判しています。

避難計画では、要援護者は優先的に早期避難となっていますが、実効性はありません。福島原発事故のような「避難弱者」の悲惨な状況が繰り返されることになってしまいます。

国は避難計画を審査せず、責任取らず

規制委員会は、審査に合格しても「100%の安全はない」と繰り返しています。再稼働すれば大事故の危険があるにも関わらず、避難計画を審査することさえせず、責任をとろうとしません。こんな無責任は許されません。

約30km圏内の福井・京都・滋賀、関西一円で、住民の意見を聞く説明会を！

綾部市は2月5日、京都府を通じて住民説明会の開催を国に求めました。宮津市議会は、昨年末に全員一致で住民説明会等を求める意見書を可決しました。高島市は、「国および関西電力(株)に対して、原発の安全性に関する説明責任を果たすよう求めると、私たちの要望書に文書で回答しています(2月13日)。高浜原発では3.11後に初めて超危険なプルサーマルを実施しようとしています。しかし、規制委員会は審査基準さえ持っていません。さらに、深刻な汚染水流出が起こった場合の方針もなのまま再稼働を了承しています。避難計画の問題を含め、国は住民に説明し、意見を聞くべきです。

再稼働の同意権は福井県と高浜町だけで、他の地域は被害を被るだけで同意権なしとは理不尽です。また、京都府知事は、再稼働の同意権なしの安全協定を結ぼうとしています。これでは京都府民の安全を守ることはできません。市民の申し入れに対し、大阪府は「同意権は関西一円にある」と述べています。当然のことです。

福井・関西各地の議会や議員、自治体に働きかけていきましょう。福島原発事故を繰り返してはなりません。

避難した先が自然災害の危険区域…… 住民の安全は守れない

原発事故時の避難所(兵庫県)自治体アンケート結果より

- 兵庫県41市町中、24市町で土砂災害警戒区域などの危険区域に避難所
- 避難所600ヶ所中、184ヶ所が危険区域 全体の3割にも
- 避難所は安全な区域を基本とする災害対策基本法等を満たしておらず違法状態のまま
- 多くの自治体が見直しさえ始めていない

No.	避難元	避難先	危険区域 内にあるか	危険区域 避難所の数	避難所の 全件数	見直し 状況	見直し完了 予定	兵庫県への 連絡	避難元への 連絡	危険理由		
			ある=●			未着手=× 見直し中=△ 見直し済=○		伝えている=○ 伝えていない=×				
1	福井県	小浜市	豊岡市	●	3	13	△	2015年3月	○	×	風水害	
2			養父市	●	2	9	△	2015年3月	×	×	土砂災害	
3			朝来市			5						
4			香美町	●	4	4	×		×	×	崩壊土砂流出等	
5			新温泉町	●	1	2	×		×	×	土砂災害	
6		中播磨	姫路市	●	4	39	△	2015年3月	○	○	土砂災害	
7			市川町	●	1	3	×		×	×	土砂災害	
8			福崎町	●	1	5	×		×	×	浸水	
9		神河町	●	2	2	△		○	○	土砂災害		
10		高浜町	宝塚市	●	5	15	△	2015年5月	×	○	土砂災害等	
11			阪神北	三田市			4					
12			猪名川町	●	1	3	×		×	○	土砂災害	
13		おおい町	阪神北	伊丹市			24					
14			川西市	●	2	19	×		×	×	洪水	
15		若狭町	丹波	篠山市	●	3	6	×		○	○	土砂災害等
16				丹波市	●	4	7	×		他	×	浸水等
17			北播磨	西脇市			5					
18				三木市	●	2	14	×		×	×	浸水等
19				小野市			6					
20				加西市			9					
21				加東市	●	1	2	×		×	×	洪水等
22		多可町			4							
福井県小計			15	36	200							
23	京都府	福知山市	西播磨	上郡町		1						
24		舞鶴市	神戸市	神戸市	●	5	73	△		×	×	津波浸水等
25			阪神南	尼崎市	●	58	61	×		他	他	洪水
26			西宮市	●	42	65	△	2016年3月	○	○	土砂災害等	
27		淡路	淡路市			6						
28		綾部市	西播磨	相生市			5					
29				赤穂市			2					
30				宍粟市	●	7	17	×		×	×	土砂災害
31				たつの市	●	1	3	△		×	×	土砂災害
32				太子町			8					
33		佐用町			2							
34		宮津市	東播磨	明石市			47					
35				加古川市	●	28	51	×		他	他	洪水等
36				高砂市			14					
37	南丹市	淡路	洲本市	●	2	9	必要なし		×	×	津波等	
38			南あわじ市	●	4	9	×		○	○	土砂災害等	
39	京丹波町	阪神南	芦屋市			19						
40	伊根町	東播磨	稲美町			3						
41			播磨町	●	1	5	×		×	×	高潮	
京都府小計			9	148	400							
合計			24	184	600							

アンケート実施期間：2014年11月7日～11月25日

実施主体：避難計画を案ずる関西連絡会／脱原発はりまアクション

回答率：100% (ただし明石市は口頭での回答。西宮市の危険区域の避難所数は市から回答なしのため市民の調査による)